





# 審査結果報告書

平成30年1月29日

主査	氏名	高平尚伸	
副査	氏名	福田倫也	
副査	氏名	佐藤春彦	
副査	氏名	酒井利奈	

1. 申請者氏名 : DM12002 阿部 宙

2. 論文テーマ :  
変形性膝関節症患者の腰痛と立位時脊椎・骨盤アライメントの関連性

3. 論文審査結果 :

変形性膝関節症患者は約5割が腰痛を有することが報告されており、腰痛の合併は健康関連 QOL の低下を招くことも指摘されている。しかし、変形性膝関節症患者が腰痛を発症する原因については未だ統一した見解はないのが現状である。

阿部宙君は、変形性膝関節症患者を対象に、過去の報告で一般成人の腰痛の有無に関連する要因として指摘されている患者背景因子や立位時の脊椎・骨盤アライメントに加えて、変形性膝関節症の主症状についても同様に調査し、変形性膝関節症患者の腰痛合併に関連する要因を多変量解析にて検討した。その結果、変形性膝関節症患者の主症状である膝痛、膝伸展筋力および立位時の膝伸展制限と腰痛との有意な関連性を認めなかったものの、体格(BMI)と立位時の脊椎・骨盤アライメントが変形性膝関節症患者の腰痛の有無と独立して関連していることを明らかにした。横断的な検討であるため、変形性膝関節症患者の腰痛の原因究明までは至っていないが、変形性膝関節症の主症状を加味しても、BMI や脊椎・骨盤アライメントが腰痛と関連する結果を示した点において、今後の変形性膝関節症患者における腰痛の原因究明や現状での腰痛合併への対策を講じる上で、意義の高い結果であったと考える。

1月29日に実施された公開審査についても、発表および質疑応答を滞りなく完了した。よって博士号の学位に適すると評価した。